

東北大

きょうかん

発行
東北大学教育学部
関東地区同窓会

事務局
〒112-0006
文京区小日向 2-25-6
(鬼 宗久方)

電話 03-3944-0450
FAX 03-3944-4132
onim4771@kkf.biglobe.ne.jp

「絆と交流を強めよう」



東北大学教育学部関東地区同窓会会長
星 永揚 (教育社会66年卒)

はじめまして。昨年十一月の総会で、笹川会長の後を受け会長に選出いただきました星です。関東支部の一層の発展のため全力を尽くす決意しております。皆様のご支援ご協力をよろしく願っています。

三月十一日に発生した東日本大震災、宮城・岩手・福島をはじめ各地に甚大な被害と影響をもたらしました。被災地と被災者の方々に心からお見舞い申しあげ、一日も早い復興をお祈りいたしております。

十一期前半一年の主な活動をご報告いたします。活動方針の、会員交流の活発化、本部・支部・校友会との連携強化に重点を置きました。

昨秋の総会は、麗澤大学東京研究センターを会場に、本部長宮腰英一教育学部長、仙台支部阿部琢也支部長・關口隆事務局長・岡崎忠顧問を来賓に迎え、総勢三十七名の出席でした。同窓の銭谷眞美国立東京博物館長の講演「教育と文化をめぐって」は、次世代教育の重要性を国際比較とデータを基に話され、感銘深く拝聴、久しぶりに学究的雰囲気浸ることが出来ました。会場を「三

大いに盛り上がり、会員諸氏の連帯と絆が更に強まりました。

昨年十一月の仙台支部総会には家根・長谷川・今野の各氏と星、五月東京での校友会関東支部・本部打合会には堀籠副会長と星、六月仙台での教育学部同窓会理事会には家根顧問と星が出席し、各方面との情報交換と連携強化を図りました。六月末には、学生会館で関東支部第一回役員会を実施。その他、七月の「東北大学関東交流会」、十月の「ホームカミングデー」にも参加しました。「きょうかん」が会員の皆様の心の拠所となるよう、役員一同頑張りますのでよろしく願っています。



「第11回総会」
記念講演 銭谷東京国立博物館長

東北大学二〇四周年関東交流会報告
東北大学教育学部関東地区同窓会副会長
堀籠 英夫 (教育社会61年卒)

平成二十三年七月十日(日)、前回は一〇〇名上回る四〇〇名の参加を得て、一五時から東京丸の内サピアタワーで開催されました。震災後とあって、母校・故郷の現況並びに復興具合など校友会会員の関心の高さが伺い知れます。

会は、井上総長の挨拶に始まり、北村副学長からは「東北大学の復興に向けて」の講演があり、続いて記念講演として災害制御研究センター長の今村先生から「東日本大震災の実態と多くの教訓」、さらに東北大学病院長の里見先生から「東日本大震災―大学病院の対応と今後の課題」と題する講演がありました。何れも時宜を得たテーマであり、出席者も熱心に聞き入っていました(講演の内容は東北大学校友会などのHPで閲覧できます)。

母校の東日本大震災復興状況(七月上旬現在)に関して以下に、要約します。

・大学の被害総額は八〇〇億円弱
九割の建物で支障はなかったが、備品・設備などの被害は四千点にのぼった。(免震構造の建物内では被害がなかった：重要施設の免

震化の必要性)

・復興状況：ほぼ平常通りの教育・研究活動に戻っている。

・仙台市内での放射線量の影響（人体に影響のないレベル）。新宿区と同レベルで〇・〇九〜〇・一〇マイクログシーベルト（平常時の一・五〜二・〇倍程度）。ただし、外国からの留学生からは敬遠され優秀な頭脳の獲得に支障を来たしている。また、国内でも関西以西からの進学希望者の減少が懸念される。また、海外では、東北大学が削減したとの噂があったとの事でした。

また、東北大学災害復興・地域再生重点研究事業構想が発表されています。東北大学のHPでご確認ください。

なお、萩友会関東支部総会は毎年開催されております。これまで参加された事のない方は、ぜひご参加をお勧めいたします。母校からのメッセージや記念講演だけでなく、意見交換会（交流会）では各界で活躍されておられる方々と懇談が出来ますので大変有意義と思います。



「同窓会本部・仙台支部から」

「グローバル人材の育成」に向けて 教育学研究科の現状と課題

秋も深まりつつありますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。3月11日の東日本大震災から7ヶ月余りが過ぎ、大学の復旧は完全とはいえませんが、教育学研究科は10月からは、通常通り第2学期を開始しました。

教育学研究科は、第2期中期目標・中期計画の2年目に入り、「グローバル人材の育成」を重点事項として、その実現にむけて機動的かつ戦略的な取り組みを進めています。国の「新成長戦略」を踏まえて展開されている「グローバル化社会の大学院教育」世界が多様な分野で大学院修了者が活躍するために―（中教審E2313）答申）、及びそれに基づく「第二次大学院教育振興施策要綱」（平成23〜27年度）を指針に、「新たな社会の創造・成長を牽引する博士の養成」「大学院教育のグローバル化の促進」を研究科の重要課題としています。

第一期中期計画期間の総括と共に新規課題の設定にあたり、昨年5名の外部評価委員から貴重な提言をいただきました。その提言と本学の基



東北大学教育学部同窓会会長
教育学研究科長
宮腰 英一（教育行政76年卒）

本方針（井上プラン）で示された「教育の国際化の推進」「グローバルネットワークの構築による国際共同研究の推進」「世界で活躍できる人材の輩出」が達成目標となっています。

研究科は、平成23年度から5か年計画で、特別経費プロジェクト「東アジアにおける国際的教育指導者共同学位プログラムの開発研究」に着手しました。この半年間で専任教員、客員教員、教育研究支援者、事務職員を新規採用し、企画・運営・実施体制を整備しました。また海外の大学との連携強化のため、中国の南京師範大学、華東師範大学、韓国の高麗大学、台湾の台湾師範大学、政治大学との研究交流を積極的に進めています。7月にはプロジェクト発足にあたり「アジア型エラスムス・ドゥスの可能性」をテーマに式典、基調講演（二宮皓放送大学副学長）、シンポジウム（慶応大、早稲田大、本学理学研究科、教育学研究科）を開催しました。今後12月9・10日に中国、韓国、台湾の協定校から研究者を招聘し、アジアの教育課題と

人材育成を巡って国際シンポジウムを行う予定です。

一方、プロジェクトを成功させるためには、博士学位授与率の向上、優秀な教員の採用、研究室の狭隘化の解消と施設設備の整備充実などの課題にも取り組まなければなりません。どうか今後とも同窓会の皆様方のお力添えを宜しくお願い致します。

「頑張ろうーみやぎ」

東北大学教育学部同窓会仙台支部支部長
阿部 琢也（学校教育65年卒）

仙台支部は、昨年の十一月七日に創立三〇周年記念総会・祝賀会を開催致しました。お陰様で百二十名余りの会員の方々にご参加を頂き、盛会のうちに終わることができました。なお、当日は関東地区同窓会からも、星会長をはじめ四名の方々に遠路ご参加頂き、祝賀の宴に華を添えていただきました。改めて心より感謝申し上げます。

それから間もない十一月十九日には、貴同窓会の第十一回総会・講演会・懇親会に仙台支部から三人が参加させて頂き、両支部



「第11回総会」
来賓 阿部仙台支部長のご挨拶

間の交流を一層密にすることができました。

このような成果を残して、同窓会活動の更なる発展を心に描きながら迎えた春三月十一日、未曾有の大震災に襲われようとは、誰が想像し得たでしょうか？

あれから七カ月が経過しましたが、国政の進展状況から見ましても復旧・復興への道は未だ遠しの感があります。比較的被害が少なかった拙宅の近くの小学校には、今なお隣の団地の小学校がそっくり間借りをしている状況です。

関東地区の皆様におかれましても、「学びの故郷・仙台・みやぎ」の被災後の様子がマスコミ等を通して伝えられるにつけ、在学当時を思い出されて心を痛めておいでのことと拝察致します。

仙台支部では、大震災後の大変な中ではありますが、敢えて本年も、十一月二十日に総会を開催することに致しました。お互いの無事を確認し、大震災の体験を語り合い、必要なことを後世に伝える機会にしたいと考えています。

終わりに、貴同窓会の一層のご発展と、会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶と致します。

三・十一東日本大震災を被災して 東北大学教育学部同窓会仙台支部事務局長 関口 隆 (学校教育66年生)

当日、高層ビルの八階で会議中突然揺れに襲われた。持参した携帯電話は宮城県沖で大規模地震発生を知らせたのち、通話不能。窓から見える向かいのビルの直径二〇センチ超の太い四本のアンテナが左右に揺れ、次々に根元から折れていった。

三月十五日電気復旧。テレビで東北沿岸部津波被災の凄まじさを知った。親戚・友人等の安否の把握もできず、新聞の情報に目を走らせる日々が続いた。

教育職に身を置いた者としては、石巻市の大川小学校の児童・教職員が犠牲になった報道に最も心を痛めた。保護者・職員の関係者・管理者・市教委等の苦しみは計り知れず、今後長期に亘るものと思う。

今回の震災後は、自衛隊・警察・地元の事情に精通している消防団や地域の役員の方々の献身的な活動が印象に残った。さらに、阪神淡路震災を経験した若者たちの応援と全国の各自治体から派遣された人々の寝食を忘れた仕事ぶりには、被災した県民全てが心から感謝している。

ところで、教育学部の十一階建ての新研究棟は無事であったが、先生

方は蔵書のひとつと全てが書架から床に散乱し、その整理に多忙な毎日を送られた。

教育学部同窓会仙台支部も、五月末に役員会で開催の有無等・対応を協議した。十数年間会場としていたホテルは壊滅状態。会員の安否も不確か。しかし、「こんな時だからこそ同窓会が結束を図るべき」と、八月の役員会で実施を決定。

今月、支部総会の案内状発送にあたり、被災されたと思われる地域の方々の宛名ラベルを印字する度に「どうか無事に手元に届いて下さい」と祈る気持ちを含めた。会報十五号・案内状・返信はがき一枚一枚を丁寧に同封し発送したところである。

「東日本大震災に思う」 東北大学教育学部同窓会仙台支部 中川 典雄 (教育社会66年生)

1、三・十一地震被災抄

三月十一日十四時四十六分くもり、激震発生、自宅二階で読書中激しい横揺れを受けた。揺れが三分と長い時間、テレビが倒れないように抑えて居るうちに和ダンス上部の人形ケースが真下にあるファンヒーターを滑り台にして落下した。一階台所の食器棚から食器落下床一面に散乱、茫然と昭和五十三年の宮城沖

地震の恐怖が横切る。余震数多く発生、電気ガス停止、自宅外の情報不明、大津波・福島原発事故も把握できず、十一日夜は玄関口で毛布にくるまり過ごす。寒い中仙台南部の深沼で津波による死者、数百名発生をラジオで聞いた。十二日停電続きストップで暖をとった。体験上被災時の対策上必要な事は電池、ラジオ、懐中電灯、携帯電話蓄電池、飲料水、食料、常備薬、通帳を避難袋にまとめ、高棚の家財は不要と感じた。

2、再生して後世に伝承を

東日本大震災は津波、火災、建物倒壊、放射能汚染を起こした。津波は仙台平野を直撃し内陸四キロまで浸水した。これまでも数回津波があったのにきちんと善後策が実行されず、未曾有の惨事を招いた。今回も地区を走る海抜六メートルの東部道路を避難所にせず被害が拡大した。内陸部でも宅地が陥没隆起し建物崩壊を招き造成時の不備が問われ高齢者所有だけに課題が大きい。さらに原発汚染が広域に最大の危機を招き、この課題の解決なくして震災の解決はありません。風評被害をなくし協力すべきです。震災で多くの人が大きな災害を受けましたが、きちんと受け止め地道に忍耐強く協力支援し必ず再生、復興し後世に伝承すべきと思います。

同窓生の声

第十一回総会の出欠返事の葉書に添えられたお言葉を掲載いたしました。

(お名前の敬称省略をご了承下さい)

大曾根 良衛

傘寿をすぎました。小さな書庫から山脈を眺めながらすごしています。

(教育哲学55卒 山梨県甲府市在住)

若林 滋

皆様のご健勝をご祈念申し上げます。北海道史に関する本を六冊出版しました。死ぬまでに十冊は出したいと念じています。

(教育哲学59年卒 北海道札幌市在住)

青柳 進

県立高校で英語を教えていたが、退職後、二つの私大で哲学・倫理学・宗教学等を教えています。当日講義と会議が入っていて失礼します。皆様によりしくお伝え下さい。

(教育哲学61年卒 栃木県宇都宮市在住)

木村 裕也

ご盛會を祈る。小生八十一歳になり、歩行困難なので出席できません。埼玉県立高校長を最後に定年退職し

て二十一年にもなります。故林竹二先生をなつかしく思い出すこの頃です。

(教育哲学63年卒 埼玉県川越市在住)

木村 俊二

現在、都内公立中学校の校長を務めています。十月末に久しぶりに仙台を訪れ、川内・片平の校舎を見学して来ました。すっかり変わった姿に驚きました。今回は所用のため欠席いたします。ご盛會を祈ります。

(教育哲学68年卒 東京都西東京市在住)

笹川 智恵子

滞りなく終わりますように。次期につなげていきましょう。

(教育哲学69年卒 埼玉県狭山市在住)

鈴木 重男

返信遅れ、申し訳ございません。総会の盛會を祈念申し上げます。

(教育哲学70年卒 静岡県浜松市在住)

木戸 裕

会報有難うございました。いつもお世話になっております。今後ともどうかよろしくお願ひ申し上げます。

(教育哲学74年卒 東京都板橋区在住)

奥村 寛

今回は本学の施設で開催されるの

ですが、現在、博多の地で勤務しているので参加できません。先生方の消息大変うれしく読みました。

(教育哲学81年卒 千葉県柏市在住)

家根 敏明

認知症進んでからのご長命。元気に楽しくボケています。

(教育社会学57年卒 東京都世田谷区在住)

大寄 晋

ご連絡有難うございます。小生、昨年より体調をくずし、同窓会出席直前にキャンセルしご迷惑をかけました。その折脱会の届けを出したのですが、またお葉書を頂いてしまいました。誠に残念ながら出席できません。脱会扱いにして下さい。

(教育社会学58年卒 千葉県船橋市在住)

【事務局より】

大変失礼いたしました。残念ですが会員名簿から削除させていただきます。ご健勝をお祈りいたしております。

山本 守篤

転居しました。

(教育社会学59年卒 千葉県富里市在住)

太田 武久

地域の社会教育振興委員をやって十年になります。社会教育への若い

人の参加が一番の課題です。

(教育社会学60年卒 栃木県足利市在住)

菊谷 邦雄

海外旅行のため返事が遅くなり申し訳ありません。

(教育社会学60年卒 東京都三鷹市在住)

大野 忠

盛會でありますように祈っております。

(教育社会学61年卒 静岡県静岡市在住)

西村 孝雄

先約があり、残念ながら欠席いたします。盛會をお祈りいたします。

七期二十八年勤めた中野区議会議員をリタイアしたあと、挑戦して社会福祉士・精神保健福祉士の国家資



懇親会(於 三国一) 遠来のお客様と その①



世川前会長とご一緒に

格を取得し、「西村孝雄3W（ソーシャルワーカー）ルーム」（事務所）を開設しました。

（教育社会学63年卒 東京都中野区在住）

吾田 壹明

介護保険の公表関係の調査で、当日は参加できず残念です。

（教育社会学63年卒 埼玉県狭山市在住）

清水 勝夫

藤井前仙台市長さんの逝去の知らせに接し、驚いております。藤井先輩には社会福祉施設の新設に関し多大のご支援をいただきました。平成十四年十一月の同窓会の席でお話とお話と思っておりましたが話せませんでした。誠に残念です。佐々木徹郎先生の消息を知りうれしく思います。

（教育社会学63年卒 神奈川県横浜市在住）

浅野 勉

世話役、有難うございます。

（教育社会学64年卒 埼玉県さいたま市在住）

中林 勝男

ご盛会をお祈り致します。「きょうかん」、なつかしく拝読しております。

（教育社会学65年卒 東京都中野区在住）

平間 昭次郎

いつもご案内有難うございます。当日、所用があり欠席です。当方、健康第一として、登山・ゴルフ・カラオケ・マージャン・海外旅行など忙しい毎日を過ごしております。

（教育社会学65年卒 神奈川県川崎市在住）

萬矢 和恵

ご盛会を祈ります。

（教育社会学65年卒 神奈川県横浜市在住）

今野 勝利

幹事役ご苦労様です。ご案内いただきましたが欠席いたします。盛会を祈念申し上げます。

（教育社会学67年卒 千葉県流山市在住）

塩入 肇

あいにく当日は大阪出張予定で、

出席が適いませぬ。申し訳ありませんが、次回に期待するのみです。盛会をお祈りしております。

（教育社会学67年卒 埼玉県東松山市在住）

巽 駒太郎

五月に転居いたしました。

（教育社会学67年卒 神奈川県横浜市在住）

小玉 幸彦

国技館スミダの第九に参加、二〇一二年春のスカイツリー完成を祈願して、二〇一一年二月から三年間祝賀の曲を合唱します。

（教育社会学68年卒 茨城県取手市在住）

薄木 正雄

誠に申し訳ございませんが欠席させていただきます。維持会費は町田郵便局より振り込みました。

（教育社会学69年卒 東京都町田市在住）

野島 節子

先回は合唱付で楽しい懇親会でした。ありがとうございます。今回は都合がつかず残念です。

（教育社会学69年卒 静岡県沼津市在住）

北館 博人

JFE商事石油販売取締役社長に就任して五年となっています。家

内と二人、倉敷に暮らしておりますが、住めば都という気分にもなっています。その内、浦安の方に戻りますので会への出席が楽しみです。堀籠副会長、小玉幹事に宜しくお伝え下さい。

（教育社会学72年卒 岡山県倉敷市在住）

市塚 守

お世話になります。現在、韓国釜山の新羅大学で講師をしていますので出席できません。

（教育社会学73年卒 群馬県高崎市在住）

下坂 節男

京都に単身赴任をしております。当日は京都を離れることができませんので欠席させていただきます。来年四月には関東に戻ると思っています。今度は皆様にお会いできるかと思っております。盛会を祈念いたしております。

（教育社会学74年卒 千葉県流山市在住）

津吹 滋

今回も欠席で申し訳ありません。盛会をお祈りしています。

（教育社会学74年卒 神奈川県相模原市在住）

菅谷 清

ご盛会をご祈念申し上げます。現在、茨城県立結城第二高等学校勤務。

本校は、午前部、午後部、夜間部の三部制定時制・単位制高等学校です。本県高等学校の教職員で東北大卒の組織「みちのく教育会」があります。現在は活動していないようです。
(教育社会学76年卒 茨城県古河市在住)

岩田 真

初めて参加します。いつもご連絡有難うございます。今後ともよろしくお願いします。

(教育社会学79年卒 埼玉県さいたま市在住)

佐々木 浩

返信遅くなりました。現在勤務地が姫路のため欠席させていただきます。

(教育社会学80年卒 東京都練馬区在住)

田崎 正紀

維持会費を払い込みました。同窓



「大先輩と後輩」
(どちらが先輩?)

会の盛会・発展をお祈り申し上げます。家庭裁判所調査官としておりますが、六十歳まであと十年になりました。月日は早いです。

(教育社会学82年卒 栃木県小山市在住)

赤間 啓介

総会の前々日に、山岳部の二年先輩でオーロラの研究で世界的に著名なアラスカ大学の赤祖父俊一氏が一時帰国されたので、氏を囲んで昼食会を東京で開催することになり、それに参加します。八十歳の身にとつてあまり日を置かずに、それも夜の会合に出席するため再び上京するのは到底無理ですので、残念ながら欠席させていただきます。ご盛会を祈っております。

(教育行政学55年卒 栃木県小山市在住)

加納 正巳

体調不良で欠席いたします。ご盛会を祈ります。

(教育行政学57年卒 神奈川県横浜市在住)

須貝 幸雄

ご案内有難うございました。申し訳ありませんが欠席いたします。ご盛会をお祈り申し上げます。

(教育行政学58年卒 東京都練馬区在住)

太田 智朗

NHK三十五年、大学十五年、五十年の組織人から(この四月から)全て退きました。皆さんよろしく。この秋からは、初めのジャーナリストに戻り、ノンフィクションの執筆に着手、調査・インタビューを始めました。「戦うは一期一会」という題で、来夏出版の予定。

(教育行政学60年卒 神奈川県鎌倉市在住)

秋田 義明

汗をかきながらゴルフに励んでいます。

(教育行政学61年卒 茨城県土浦市在住)

五味 潤

卒業して四十八年になります。初参加です。銭谷氏の話は是非とも拝聴したいと思っています。事務局はじめ役員の皆様のご奉仕に感謝します。

(教育行政学62年卒 栃木県宇都宮市在住)

斎藤 哲至

昨年五月には、一九六二年卒の教育行政学専攻の同期会が、古希を記念して実施されました。同期十二名中九名が、北は北海道、南は東京から参集し、作並温泉に一泊、同期ならではの楽しい一時を過ごすことが

出来ました。

(教育行政学62年卒 福島県福島市在住)

新井 雄啓

当初出席の予定でしたが、所用が入ってしまい申し訳ありませんが欠席させていただきます。お世話になります。役員をひき受けながら何もお役に立てず申し訳ありませんでした。

(教育行政学63年卒 埼玉県越生町在住)

熊谷 晃

(独)国際協力機構定年退職後、趣味で桐朋学園大学音楽学部入学し、昨年四年を修了しました。今は第二の人生として音楽指導・指揮、ソロ活動等社会貢献のつもりでやっています。

(教育行政学69年卒 東京都国分寺市在住)

羽尾 和夫

四月から完全に自由な毎日で充実していると書きたいのですが、現実はいまは……。

(教育行政学69年卒 群馬県伊勢崎市在住)

福田 昭夫

地元の市議選があり、残念ながら出席できません。今後とも官僚主導の政治を変え、「国民の生活が第一」

の実現のため頑張って参ります。皆様に宜しくお伝え下さい。

(教育行政学71年卒 栃木県日光市在住)

浅野 良一

平成十九年より、兵庫教育大学の教職大学院で、現職教員派遣学生に「学校組織マネジメント」等を指導しています。当日は、兵庫県教育委員会との打合せがあり、欠席します。ご盛会をお祈りいたします。

(教育行政学78年卒 大阪府東大阪市在住)

猪瀬 幸夫

現在、五十三歳で高校教師をしています。初めて参加してみようと思いますが、「知っている方もいないかも・・・」と不安な気持ちです。

(教育行政学80年卒 茨城県古河市在住)

高島 俊文

銭谷大先輩には、勤務先(学研)の業務上、幾度かご挨拶申し上げているだけに参加できませんで大変残念です。

(教育行政学82年卒 神奈川県横浜市在住)

中島 洋明

群馬県立館林女子高等学校で生徒指導主事としております。当日は当校(事務局)が主催する地域の生徒

指導の会議があり出席できません。「来年こそは・・・」と思っております。当会の発展を祈っております。

(教育行政学85年卒 群馬県太田市在住)

鈴木 晶子

返信が開催後となつてしまい、お詫び申し上げます。住所が変わりました。

(教育行政学修士86年卒 東京都品川区在住)

長沼 真吾

当日を楽しみにしております。

(教育行政学88年卒 東京都八王子市在住)

江川 亮

皆さん、お元気でお集まりのことと拝察いたします。小生、家内の介護で日々を過ごしております。昨秋の学部創立六十周年記念式典では、関東地区同窓会創設に尽力した一人として、表彰をいただきました。光栄なことです。

皆さん、ご健康で。

(教育心理学55年卒 神奈川県横浜市在住)

磯部 裕子

「きょうかん」懐かしく拝見しました。

(教育心理学58年卒 静岡県浜松市在住)



家根三代会長とご一緒に

奥泉 英夫

古希を迎えたことを契機に、野菜作りと母親(九四歳)の介護に集中するようになりました。「きょうかん」を手にする、五十年前に過ごした仙台での学生時代が鮮やかに思い出されます。ますますの盛会を祈念いたします。

(教育心理学61年卒 群馬県前橋市在住)

斎藤 忠志

当日は勤務校(名古屋)で授業を担当しており出席できません。皆様によるしく。

(教育心理学61年卒 神奈川県横浜市在住)

岡崎 豊

今年三月、住所変更しました。「きょうかん」も十号ですか。一・二

号の編集に携わりましたが、感無量のものがあります。ますますの発展を祈ります。

(教育心理学63年卒 富山県砺波市在住)

大淵 雄人

ご連絡有難うございます。体調不良で、残念ですが欠席させていただきます。

(教育心理学66年卒 千葉県佐倉市在住)

会田 元明

国際医療福祉大学を定年退職後、宇都宮市内の作新学院大学短期大学部の非常勤講師として二年目になります。非常勤になって以来、大学への「研究実績報告」から解放され、気楽に教壇に立つております。

(教育心理学67年卒 栃木県宇都宮市在住)

菅田 美紀子

何年ぶりかで出席してみようと思えます。同期生が少なく心細い限りですが、幹事の鬼氏とお会いできるのを楽しみにしております。

(教育心理学67年卒 千葉県柏市在住)

寺嶋 洋平・順子

二人とも仕事の都合がありますので、残念ですが・・・。(教育心理学75年卒 千葉県習志野市在住)

吉村 葉子

いつもお世話になっております。これからも宜しく願います。
(教育心理学76年卒 東京都東久留米市在住)

野露 るみ子

前略、取りまとめ有難うございます。卒業後特別支援教育へ、現在は訪問教育に携わっております。「寝たきりの重度重複障害の子供たちにどうアプローチしていくか」、日々悩むところです。夏の訪問教育全国大会に助言者として川住教授がいらつしやり、(直接大学で教わっていませんが)改めて大学の奥深さを感じました。
転居しました。

(教育心理学83年卒 神奈川県川崎市在住)

小滝 威

ご盛会をご祈念いたします。
(教育心理学85年卒 栃木県大田原市在住)

吉田 恵子

甲府西高校で、国語と進路指導を担当しています。会の盛会を祈念しております。
(教育心理学86年卒 山梨県甲府市在住)

中村 順也

ご連絡有難うございます。残念なご報告ですが、順也は平成十七年九月に他界いたしました。生前の皆様のご厚情に改めて感謝申し上げます。関東地区同窓会のみますの発展を心よりお祈り申し上げます。(ご尊父貞夫様よりのご連絡)

(教育心理学89年卒 群馬県榛東村在住)

【事務局より】

誠にご愁傷さまでした。ご冥福を心からお祈りいたします。

吉中 淳

十月より神奈川県から青森県の弘前大学へと住所変更となりました。略儀ながら書中にてご挨拶申し上げます。
(教育心理学91年卒 青森県弘前市在住)

小原 弘三

きょうかん誌、いつも楽しくなつかしく拝見しております。今回は特に恩師のご消息が出色でした。やはりお年を伺うのはしつれいなのかなとは思いましたが。

(心身障害学57年卒 東京都多摩市在住)

ロイ 田沢

当日は早めに会場入りいたします。
See you soon! Roy
(心身障害学62年卒 埼玉県所沢市在住)

大沼 直紀

東大・先端研に「聞こえのバリアフリー」研究所を設け、客員教授として仕事をしております。
(心身障害学65年卒 茨城県つくば市在住)

山森 伸子

お世話になった松野先生(ミュージカル)、村井先生(パン作り)のお元気な様子嬉しく拝見しました。川住先生の楽しく懐かしいコメントに感謝です。
(心身障害学78年卒 神奈川県川崎市在住)

細洲 富夫

埼玉大学で教員養成にたずさわっています。
(心身障害学79年卒 埼玉県さいたま市在住)

諏訪 幸子

お返事が遅くなり申し訳ありません。
(心身障害学82年卒 茨城県常陸太田市在住)

及川 元

八十歳を過ぎますとあちこち。ガタが来ています。残念ながら欠席しますが、ご盛会を祈っております。
(学校教育学53年卒 神奈川県横浜市在住)

板井 啓修

所用あり、失礼します。盛会を祈っております。
電話番号が変わりました。

(学校教育学53年卒 千葉県松戸市在住)

小野寺 久子

体調不良のため退会いたしました。永い間ありがとうございました。

(学校教育学54年卒 横浜市港南区在住)

【事務局より】

退会手続きをさせていただきます。ご回復をお祈りいたします。

佐藤 邦男

母校に感謝をこめて会員にだけとはどまっておりますが、運営・活動等は若い有為な皆さんにおまかせしますので、よろしく御願います。すばらしい教師を育てることは子



遠来のお客様と その②



「学友再会」
(久しぶり…元気でしたか?)

供を育てることであり国を興すこと
につながると思っております。虐待・
差別の世情をうれいております。障
害児は勿論、子どもたちの人権と願
いが生かされるよう期待しておりま
す。盛会を祈ります。

（学校教育学54年卒 埼玉真さいたま市在住）

堀内 純子

毎回お誘いをいただきながら出席
できず申し訳ございません。ご出席
の皆様のご健康とご多幸をお祈り
いたします。寒さにむかいます折から
お身体をお大事に。

（学校教育学54年卒 山梨県富士吉田市在住）

菊地 明

江川先生と「きょうかん」の立ち
上げにかかわって早や二十年、夢の

ようです。代々役員諸氏の奮闘と、
支えてくださる同窓の皆様のごあ
りがたさを痛感いたします。「えに
し」を大事にしていきたいものです。
（学校教育学55年卒 東京都東大和市在住）

旅行と重なっており、残念ですが
欠席いたします。ご盛会でありませ
ようお祈り申し上げます。
（学校教育学55年卒 神奈川県横浜市在住）

お知らせ有難うございました。
（学校教育学56年卒 神奈川県横浜市在住）

所用のため残念ながら欠席させて
いただきます。ご盛会を祈っていま
す。小生、九十六年横浜国立大学を
定年退官し十四年経ちました。応用
行動分析学による日本行動教育研究
会の仕事を継続している現状です。
（学校教育学56年卒 神奈川県横浜須賀町在住）

随分と時を経ますが青年の日を懐
かしく思い出されます。時に、離れ
た地方の同職だった者はじめ、地元
大学卒の同業で頑張つて一応のコ
ースを辿り得ても若干の孤独感で自己

志子田 宣生

中井 ちとせ

渡辺 健郎

大金 武文

を遠慮して来ています。旧中高の友
人とは温かい交流はありますが。
（学校教育学57年卒 茨城県常陸太田市在住）

同窓会の開催おめでとうございま
す。東京に住んで五十余年、ご案内
を頂き青春時代を思い出しました。
後期高齢者に入りますので、本年
でご遠慮させて頂きとうございます。
（学校教育学58年卒 東京都中野区在住）

【事務局より】
了解いたしました。手続きをさせ
ていただきます。

地域包括支援センター協力員・社
協の友愛訪問員・介護保険ちようふ
市民の会相談員等、調布市における
高齢者福祉に係るボランティアに励
んでおります。
（学校教育学60年卒 東京都調布市在住）

東久留米の自由学園で地理の講師
をしています。孫に、日本と世界の
将来について話すという語り部の心
境です。会のご成功をお祈りしてい
ます。
（学校教育学60年卒 東京都杉並区在住）

石坂 清子

加藤 真喜子

高橋 睦人

お返事遅くなって申し訳ありませ
ん。(ギリギリセーフ?) 一応元氣
でいます。
（学校教育学60年卒 茨城県龍ヶ崎市在住）

水泳、社交ダンス、茶道と塾の仕
事と多忙な毎日を送っています。昨
年は夫が勲章をいただき天皇陛下に
拝謁いたしました。合間を縫って外
国旅行、九十ヶ国以上行きましました。
アクセスして下さい。
<http://www.geocities.jp/junkommu/>
（学校教育学61年卒 東京都目黒区在住）

お知らせを有難うございます。関
東地区同窓会のご発展を祈念します
（学校教育学62年卒 東京都世田谷区在住）

古希を迎えしも、未だ現役です。
（学校教育学64年卒 神奈川県藤沢市在住）

「きょうかん」をお送りいただき
まして有難うございました。係りの
皆様いつもお世話になり感謝いたし
ます。
（学校教育学64年卒 神奈川県横浜市在住）

村井 綾子

三浦 淳子

熊谷 裕子

渡辺 登美子

後藤 光



「力強い仲間達」
これからも頑張ろう!

抹消して下さい。(ご長男史郎様からのご連絡)
(学校教育学'66年卒 米国在住)

【事務局より】

手続きをさせていただきます。米国での活躍をお祈りいたしております。

横館 厚太

ご案内有難うございます。お世話になります。現在、北区の放課後子供プラン運営委員会活動をしています。
(学校教育学'67年卒 東京都北区在住)

「ホームカミングデー報告」

*「ホームカミングデー」当日

十月八日(土)、澄み渡った秋空の下、東北大学一〇四周年ホームカミングデーが百周年記念会館「川内萩ホール」会場を中心に開催されました。川内キャンパスは、広大な敷地の中、私が学生だった一昔前より一段と成長した常緑樹と色づき始めた紅葉樹、道端で咲き零れる宮城野萩とが絶妙のコントラストを見せ、都会を忘れさせる静寂さと併せ正に別天地でした。

今年はいくまでの二日間を一日に

集約し、「元氣・前向き・東北大学」のキャッチフレーズのもと震災復興

バージョンでの開催となりました。

*萩友会総会

十一時からの「萩友会総会」は、井上総長の会長挨拶にはじまり、野家萩友会代表理事の萩友会活動紹介、原田夏子卒業生代表(法文学部第三十九期卒)、Aish Kumar Acharya 在校生代表(情報科学研究科修士課程二年)のスピーチが続きました。その後、年次別同窓会信任状交付式(学位授与式中止のため総会時に実施)と第一〇五期幹事紹介があり、最後に応援団・チアガールのリードのもと学生歌「青葉もゆるこのみちのく」の大斉唱で十一時四五分総会の幕を閉じました。久々の学生歌、しかも応援団・チアガールのリードと鳴物付き、厳粛な中にも我々の学生時代とは違った華やかさが感じられ感慨を新たにしました。

△東北大学萩友会

東北大学萩友会(会長・東北大学総長)は、創立百周年を迎えた二〇〇七年に次の百年の大学づくりの礎として東北大学校友会として発足し、二〇〇九年六月に「東北大学萩友会」を正式名称といたしました。

本会は、十四万人におよぶ同窓生に加えて、在校生、現旧の教職

員、そして在校生のご家族の皆様を会員とし、「東北大学コミュニティ」の連帯意識の醸成・強化などを目指してまいります。
(大会プログラムより抜粋)

*川内キャンパス内あれこれ

総会終了後、セミナー開催までの間、会場で遭遇した高校・大学時代の同期生と周辺を散策しました。萩ホール近くのキャンパスの一部では、平成二十七年開業を目指した地下鉄東西線工事が行われていました。周りを見渡すと、サークル部室周辺の乱雑さは今も昔と変わりませんが、大学構内は立て看板を含め掲示物は整然としており、当世学生気質を反映してか内容に政治色が薄れている感じがしました。

卒業以来となる「学食」(昔と場所も建物も違っていました)で定食?

(好きな料理を自分でトッピング)で昼食、久しぶりの友人と昔話に花を咲かせました。因みに私の選んだメニューは、鶏ごぼうサラダ・冷やっこ・照りタルハンバーグ・豚汁・小ライスで合計四八〇円也でした。安さと味は相変わらずでしたがポリユームは満点、納得のひと時でした。

随所で、「秋の文化フェスティバル」、「ロビー・パフォーマンス」と

猪又 和子

お世話様です。スカパーの巨大アンテナによる電磁波の健康被害を憂慮し、設置反対の裁判を行っていただきます。折角のご案内ですが、活動が予定されているため欠席いたします。会の発展をお祈りいたします。

(学校教育学'66年卒 東京都江東区在住)

今野 正保

都合がつかず、出席できません。盛会をご祈念申し上げます。

(学校教育学'66年卒 東京都世田谷区在住)

宮内 勉

父は米国に定住したので名簿から



萩友会総会 井上会長のご挨拶

名し、文科系サークルによる書道・美術展示、奇術部・応援団によるパフォーマンス、マンドリン・リコーダー・ジャズ演奏など盛り沢山の催事があり、人垣ができていました。

***大好評の「仙台セミナー」**

十三時四〇分から萩ホールで開催の「仙台セミナー」は、「医学と工学を結ぶ―超高齢化時代に向けて―」がテーマでした。

第一部基調講演は、北島政樹国際

医療福祉大学長が「医工学連携―今後の方向性」と題し、胃がん治療のスペシャリストとしての立場から、医工連携の必要性と重要性を話されました。北島先生は、プロ野球ソフトバンク王貞治会長の胃がん手術の主治医としても有名な方です。

第二部リレー講演は、田中真美東

北大医学工学研究科教授が「匠の手で早期発見」―触覚・触感を工学する、永富良一東北大学医学工学研究科教授が「備えあれば憂いなし」―「Exercise is medicine」の題でそれぞれ興味深く有意義な話をされました。中でも永富先生の講演は聴衆参加型であり、講演中に実技体験の時間もあり楽しいものでした。「安静の弊害、子供から高齢者まで、虚弱者からスポーツ選手まで、運動を通じての健康づくり」の提案は説得力があり大いに啓蒙されました。

第三部は、講師三人による震災関連の話題も含めたパネルディスカッションでした。

セミナー終了の一七時まで、都合三時間二〇分の長丁場でしたが疲れすることもなく充実・満足の時間でした。いずれの講演も前期高齢者に位置する私にとっては極めて身近な内容であり、「タダでいい話が聞けた」と、得をした気分になりました。帰宅後、早速妻に得意げに伝達講習をしたことは言うまでもありません。

***その他報告と母校訪問のお誘い**

萩ホールでは、一七時から一九時まで、歴史と伝統のある東北大学交響楽団の演奏、男性合唱団・混声合唱団による「ホームカミングデー記

念コンサート」が持たれ、近くの川内体育館・川内の杜ダイニングでは「在校生と卒業生との親睦会」が開催されました。時間の関係でどちらも参加できませんでしたが、充実したものであったと聞きました。

この他、当日に限り、片平キャンパスの史料館・川内付属図書館・総合学術博物館（理学部自然史標本館）・植物園などの施設が無料開放となる特典付きでした。

「百聞は一見に如かず」です。施設案内を後記しますので、今後、是非仙台を訪れるか、来年のホームカミングデーに参加するかで母校に足を運ぶことをお勧めします。昔を偲び現在を見直すことで新たな活力が得られ、以後の生活が充実すること請け合いです。



「ホームカミングデー報告」学生歌「青葉もゆるこのみちのく」斉唱

◆施設案内
「史料館」(十時～十七時)

常設展「歴史の中の東北大学」、「魯迅と東北大学」、企画展「さがしてみよう東北大学のアーカイブス」
「付属図書館」(十時～十七時)

創立百周年記念企画展「煌めきのコレクション―未来への贈り物―」
「総合学術博物館」(十時～十六時)
常設展「地球生命の進化」、「変動する地球」他
「植物園」(九時～十七時)

(文責、星)



▲懐かしの立看も様変わり



▲在校生と卒業生との懇親会案内

▼整然とした掲示板



事務局ノートから

第十一期役員

○印新任

(以下の方々が今期のお世話役です)

会長 ○星 永揚 (社会'66)

副会長 堀籠 英夫 (社会'61)

阿部 孝 (行政'69)

事務局長 鬼 宗久 (学校'69)

幹事 田沢 良介 (心障'62)

今野 正保 (学校'66)

小玉 幸彦 (社会'68)

徳田 英明 (心理'69)

小熊 順子 (心理'69)

○笹川智恵子 (哲学'69)

木戸 裕 (哲学'74)

小林 昭文 (哲学'76)

藤野 博 (心障'84)

長沼 真吾 (行政'88)

奥住 秀之 (心障'91)

会計監査 菊谷 邦男 (社会'60)

高橋 敏行 (心障'62)

顧問 江川 亮 (心理'55)

小林幸一郎 (社会'55)

菊地 明 (学校'55)

大曾根良衛 (哲学'55)

越河 六郎 (心理'57)

家根 敏明 (社会'57)

荒木 廣 (行政'58)

藤野 勇 (行政'59)

「恩師の訃報」

「荒井 武先生(教育史)ご逝去」

名誉教授荒井武先生は、平成二十三年七月十一日にご逝去されました。享年満九十歳でした。

喪主の純哉様のお話では、昨年あたりから急速に体力は衰えてきたものの、意識はきわめて清明で日常生活もしつかり受け答えしておられたそうです。「いつの時も穏やかで、物事すべてにきちんと対応する人でした。言葉にせずとも伝わってきた温もりや愛情。この父のもとに生まれ、育ててもらったことこそ幸せだったと感謝の気持ちでいっぱいです」と純哉様のお言葉にありました。が、学生時代先生から教えを受けた者のひとりとして、その学恩に改めて感謝し、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(木戸 裕 哲学'74)



●第一回役員会の概要報告

(実施日)平成二十三年六月三十日

(会場)学士会館東北大東京連絡所

(出席者)星、堀籠、阿部、鬼、

笹川・木戸・小林・長沼・

菊谷・高橋 以上十名

(内容)①第十一期総会・懇親会の報告と確認

②第十一期維持会費納入状況の確認

③活動状況の報告と今後の事業予定の確認

*その他、「きょうかん」の周知徹底と会員拡大活動の強化(笹川前会長からの引継ぎ事項)を確認した。

*中でも、一九九八年四月の教育学部学科改組以降



(11期役員会集合写真)

(6/30 学士会館東京連絡事務所)

の会員への対応が大きな課題。本部及び仙台支部と連携・協議し最適化を目指したい。

編集後記

未曾有の大被害を齎した東日本大震災も発生以来七ヶ月を経過いたしました。東北大学を取り巻く仙台、宮城県、東北地方またそれ以上の広い地域を含めその中で、尊い人命を亡くされた方々には心より哀悼の意を表すると共に被災されました多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、我々関東地区同窓会は平成元年七月に発足し、今年で二十三年目を迎えました。この会報も平成三年一月一日に創刊号が発行され、昨年第十号が発行されるまでに成長いたしました。これも会員の皆様はじめ、役員方のご協力を頂き、強い結束力で続けられることが出来たことに本当に感謝しております。これからも皆様のお力添えを宜しくお願い申し上げます。

(事務局長 鬼宗久 学校'69)

